



福岡歯科大学同窓会主催 第33回WEB学術講演会 「矯正治療をより身近にするために」 「矯正医の立場から、GPの立場から」

江崎 和久(8期生)



令和3年2月28日に同窓会主催の第33回WEB学術講演会が開催された。昨年当初からのコロナ禍の影響を受け、同窓会主催の4回のスキルアップセミナーと臨床セミナーは中止せざるを得なかったが、吉永修同窓会会長(4期生)、学術担当の上田秀朗副会長(5期生)ならびに理事の松永興昌学術委員長(16期生)の主導のもと、手探りの状態ではあったが完全WEB方式の開催となった。

講演会は座長の矢野尚「同窓会常務理事(4期生)による司会進行で、基調講演として本学矯正歯科学分野の玉置幸雄教授(19期生)「矯正診断における治療リスクの考え方」、3名の矯正医、GPの立場から中島稔博先生(17期生)「日常臨床と矯正治療の接点を求めて」、金成雅彦先生「混合歯列期における歯列育成」、下田哲也先生(12期生)「時代と共に変わる矯正治療のニーズとアプローチ」とのテーマで講演を行なっていたが、成功裏に終了することができた。

令和3年度の同窓会学術委員会は、年4回のスキルアップセミナーと第34回学術講演会をオンデマンド方式での開催を企画しております。すべてWEB配信となりますので、遠方の同窓生からのご参加もお待ちしております。



一年を振り返って

福岡歯科大学同窓会専務理事
秋山達也(7期生)

新しい執行部になり一年が経ちました。昨年はコロナ感染渦中、各地区総会や学術講演会など様々なイベントが中止となりました。理事会、評議員会、総会を書面で行うなど苦慮しました。昨年6月から毎月常務理事会をwebで開催するなど現行の問題点を検討しています。福祉厚生委員会による災害対策の整備、学術委員会はwebによる学術講演会の開催やオンデマンド方式による臨床スキルアップセミナーの計画、総務委員会主導の他歯科大学へのアンケート調査や諸会議の運営、組織委員会では定款諸規則の見直し、企画情報委員会ではホームページ作成やアカウント登録に向けた検討、機関誌発行などの広報活動、そして例年を踏襲できない事業計画案や予算案に謀を練る会計委員会など各委員会が活動を継続しています。今後の会議はwebを併用した開催を計画しています。福岡歯科大学医科歯科総合病院も開院し、来年には福歯大創立50周年を迎えます。明るい未来に母校と会員のため現環境に適應する同窓会を目指していきたいと思っております。

結縁 尊縁 随縁

成瀬 厚(12期生)

奈良県出身の私は平成2年に卒業後、大阪と奈良での勤務を経て、2000年に奈良市で開業。そこで18年間頑張りました。転機が訪れ、大決心して2019年2月に宮崎県綾町に移転開業しました。

縁もゆかりもない土地での開業は正直不安しかありませんでしたが、福岡歯科大の多くの先輩方や同期生が我が事のように親身になってくださり、お陰様で現在無事に診療できております。私ひとりの力では到底不可能だったと思います。福岡歯科大卒の同窓がこれほど心強いものかと身に染みて感じました。ご尽力いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

「結縁 尊縁 随縁」これは中曽根康弘元首相の言葉だそうです。

縁を結ぶだけでなく、縁を尊び、縁に随う。若い頃は、「縁」を尊ぶことも随うこともできず、過剰してきたように思います。しかし、50歳も半ばを過ぎた今、ようやく縁の大切さに気付くことができ、歯科医師となった意味を見出すことができました。

これからの同窓との縁を大事にしなが、綾町の歯科医として粉骨砕身努力して参ります。



卒業生 NOW

卒後25年を迎えて

伊藤 雅樹(19期生)

こんにちは。19期卒の伊藤雅樹です。在学中はサッカー部に所属し、先輩、OBの先生方には、学生生活、登院実習等で大変お世話になりました。本当に充実した学生生活でした。私はサッカー部顧問の若江先生の姿に憧れ、平成9年に卒業後、鹿児島大学第二口腔外科に入局しました。そして、口腔外科医としての礎を築き、現在の宮崎県立宮崎病院に赴任しました。当院には、1期生の林先生が在職されており、ご指導を頂き、専門医まで取得させていただきました。現在は診療科長となり、31期卒業の松本先生他、6名で日々の診療を行っています。

宮崎県の口腔外科診療施設は少なく、口腔がん、顎変形症、外傷、炎症性疾患など全ての口腔外科疾患に対応できる、県内では大病院に次ぐ施設として、歯科医師会の先生方とも密に連携し、地域医療に貢献できるよう努力しています。歯科医師会との連携においては、宮崎県福岡歯科大学同窓会の先生方の多大なるサポートを頂き、大変感謝しております。

私事ではありますが、長女も福岡歯科大学に入学し、歯科医師を目指して勉強してくれています。親子ともども今後も福岡歯科大学の名に恥じないよう、に精進してまいります。同窓会の先生方ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

